

しまうまサークル@関西 第24回患者会 まとめ

日時：2018年1月21日（日）11：00～16：00

場所：亀岡市老人福祉センター2階

参加者：患者24名、一般23名

午前の部

（1）患者交流会

参加者の皆さんの自己紹介があり、そのあと最近にスイスのバーゼルでPRRTの治療を受けてこられた方の体験談がありました。PRRTを受けることになった病状の変化や経緯を詳しくお話いただき、またご自身で取られた写真を見せていただきました。現在この治療は日本では受けることができないので、海外で受けると治療費のほかに渡航費用や通訳代など多額の出費が必要、など実際の体験でないと伺えない貴重なお話が聞けました。

午後の部

（1）しまうまサークル@関西の紹介

（2）京都府がん患者団体等連絡協議会 栗岡会長のご挨拶

（3）京都府がん総合対策担当課長 田中美奈子様のお話

「京都府のがん対策について」

京都府が行うがん対策は、「京都府がん対策推進条例」と「京都府がん対策推進計画」に則って進められている。

そのうちの「予防・早期発見」の取り組みとしては、例えば、小中高校へ出向いて行っているがん教育の授業がある。また、がん検診の受診率の向上に「100万人がん検診推進運動」の検診受信促進キャンペーンや乳がん検診のピンクリボン運動などを実施している。

「がん医療体制の整備」としては、国指定のがん拠点病院、府指定の連携・推進病院、地域の医療機関などが連携することで、安心してがん医療が受けられる体制づくりを行っている。

「情報提供・相談支援」としては、「京都府がん情報ガイド」の発行と配布、「京都府がん総合相談支援センター」での電話相談を行っている。

また、次期がん対策推進計画を現在策定中である。

(4) NPO法人パンキャンジャパン 眞島喜幸理事長のご講演
「始まった希少がん対策」(別紙参照ください)

(5) 意見交換会

京都在がん医療を考える会の織茂聡さんの司会進行で、眞島さんの講演などの質問や意見の交換をいたしました。

「PRRTはどのようながんに効くのか」

「PRRTは国内でいつごろから受けることができるようになるのか」

「眞島さんはなぜ厚生労働省の委員になったのか」

などの質問がありました。

また、ご家族がPRRTを受けられた方のお話を直接聞くことができました。

このPRRTを受けている間の約半年間はほかのがん治療ができないというリスクがあること等貴重なお話を伺うことができました。

夕方の部

懇親会 会場 JR京都伊勢丹11階 「和久傳」
時間 17時～18時半
参加者 19名

ここでも、和気あいあいとお食事を楽しみながら、情報交換がおこなわれていました。朝から夕方まで長時間、会員同士の親睦を深めることができました。